

公民館の取組

しまっこ広場

しまっこあきまつり



▲わくわくする会場入り口

9月17日(土)、若者宿で『しまっこあきまつり』を開催しました。
当日は1年生から6年生までの8名が、ボランティアさんが用意した手作りのたこ釣りや的あてなどの楽しい遊びで盛り上がりました。最後のくじびきでは欲しい景品をめぐって、大人も子ども也大いに盛り上がりました。



ふるさと子ども体験隊

じょんじょん太鼓を体験しよう！

9月24日(土)、中央公民館でふるさと子ども体験隊『じょんじょん太鼓を体験しよう！』を開催し、小学生6名が参加してくれました。これは和太鼓グループ『じょんじょん』の皆さんに太鼓を習いながら地域文化に触れてもらうことを目的として行っている事業です。

最初はトントントンの簡単なリズムから始まり、徐々に難しくなっていきます。じょんじょんの皆さんが繰り返し見本を見せてくれたり、とても分かりやすく指導してくださいました。



▲最初は簡単なリズムから



▲手取り足取り教えました

最後には子どもたちとじょんじょんの皆さんが一緒になって『パプリカ』を演奏しました。太鼓の音が公民館中に響き渡り、みんな気持ちよく演奏し、ひとつの演奏を創り上げる楽しさや喜びを体験することができました。

初めて太鼓を叩く子どもも多かったですが、みんな楽しそうに太鼓を叩いていました。
じょんじょんの皆さん、ありがとうございました。



▲最後は「礼」で終わります

西ノ島小中学校を支える会

9月8日(木)、第2回西ノ島小中学校を支える会(学校運営協議会)が開かれました。



▲アイスブレイク「夏休みの思い出は？」

今回は、小学校・中学校それぞれの学校評価を行いました。学校の教職員、児童・生徒、保護者対象のアンケートをもとに、委員が様々な意見の交流を行いました。

「放課後の下校の安全に関する見守りは、地域住民・保護者も一緒にできそうだ。」

「授業のボランティアに入ってみて、先生たちの大変さが分かった。地域も助けていかねば」

それぞれの方が自分の立場から意見を言い、さらには、地域も一緒になってという話も出るなど、「委員同士が仲良くなる」「地域総がかりで子どもの教育に関わる」という点でも良い会となりました。



今月のテーマ 11月と言えば上海ガニと紹興酒！

日毎に寒気加わる時節となりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

11月になりました。11月と言えば、皆さんはどのような行事や風物詩を思い浮かべますか。文化祭などのイベントや七五三、または冬の支度でしょうか。11月は10月のハロウィーンと12月のクリスマスの間に挟まれていて、ちょっと影が薄いように感じますが、様々な行事に向けた準備をする方もいるでしょう。他でもない私がその一人です。

11月と言えば、上海ガニ！

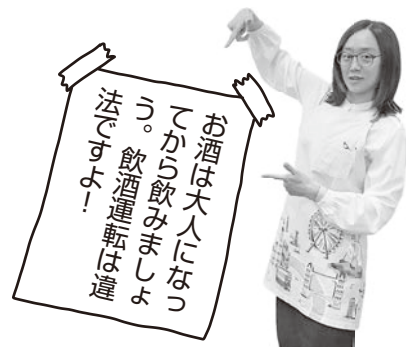
上海ガニは広東語で「大閘蟹^{ダイザツハイ}」といいます。旬は秋で、前半は雌ガニ、そして後半は雄ガニを楽しみます。香港では飲食店で上海ガニを楽しむ以外に、専門店で買って、自宅で調理して食べたりもします。上海ガニの甲羅は深い緑色で、蒸した後はオレンジ色になります。蒸した後の蟹味噌は黄金色で、クリーミーで味は濃厚です。白身も甘くて美味しいです！千切りにしたショウガを入れた、香ばしくて甘い黒酢を付けて食べることが多いです。上海ガニの蟹味噌は美味しくて、好きな方は食べたら止まらなくなりますが、コレステロールが多く含まれているので、食べ過ぎないように要注意です！

そして漢方では、蟹は体を冷やす食材と考えていますので、上海ガニを食べるときは体を温める物（ショウガや黒酢など！）と一緒に食べます。紹興酒は体を温める飲み物とされているので、上海ガニを食べるときはよく紹興酒を飲みます。



紹興酒と飲み方

若い紹興酒は色が浅くて、やや酸味が強くて辛口ですが、年を取れば取るほど、色が濃くなり、甘くて芳醇になります！もちろん、紹興酒は年を取れば取るほど、高くなります（笑）。ロックやソーダ割、ザラメまたは「話梅」（中国の干し梅、広東語でワー・ムイと読みます）を入れたりする飲み方もありますが、ストレートが一番一般的で伝統的な飲み方です。寒い時期は熱燗がおすすめです！



▲ 2020年に送ったカード。
次の年が丑年だったので、牛とトナカイをデザイン。

えッ!? まだ11月なのにクリスマスの準備!!

12月下旬の行事と言えばクリスマスです。1か月前からもう準備をするのはちょっと早すぎませんかと思う方もいるかと思いますが、早くないです！海外にいる親戚や友達にプレゼントやクリスマスカード送る場合（特にアジアからヨーロッパへの郵便物）は、11月中に発送をしないと配達クリスマス以降になる場合があります。今は国際便の減便などもありますので、発送が遅れたら、クリスマスプレゼントは本当にニューイヤープレゼントになってしまいます（笑）。今時のネット時代、SNSやメールなどで、「投稿」または「送る」ボタンをクリックすれば、すぐその瞬間にクリスマスの挨拶が送れますが、紙媒体での挨拶は別の風味があると感じます。